

令和5年度第2回米子市学校給食運営委員会議事録概要

1 開催日時 令和5年10月31日(火) 午前9時30分から午前11時30分

2 開催場所 米子市立第二学校給食センター 2階 会議室

3 出席者

＜米子市学校給食運営委員会委員＞

吉田委員(会長)、本田委員、松原委員、足立委員、梁川委員、仙田委員、
佐伯委員、夕永委員

＜事務局＞

学校給食課 野口課長補佐、橋井施設長、堀部係長、三宅栄養教諭

4 会議次第

(1) 開会

(2) 会長あいさつ

(3) 議事

ア 調理業務の検証

① 米子市立第二学校給食センター調理場の見学

② 学校給食の衛生管理について

イ いきいきこめっこプロジェクトについて

ウ 給食試食

(4) その他

(5) 閉会

5 議事の概要

(注：事務局の説明は省略しています。また、発言は要約しています。)

事務局(野口課長補佐)

これより議事を進行いたします。日程表にございますとおり、本日はまず、調理業務の検証ということで、調理作業を見学していただきたいと思っております。1階の調理場で既に給食を作り始めておりますので、調理作業の様子を見学ホールからご覧いただき、その後で、この会議室にお戻りいただき、第二学校給食センターの施設概要と衛生管理について、ご説明させていただきたいと思っております。

それでは、早速ですけれども、委員の皆様は1階の見学ホールに移動し、調理作業を見学していただきますよう、よろしく願いいたします。

[一階の見学ホールから調理作業を見学した。三宅栄養教諭の説明を受けながら、各委員が各々事務局職員と質疑応答を行った。]

事務局（野口課長補佐）

皆様、お疲れ様でした。ここからの議事は、米子市立学校給食共同調理場条例施行規則第6条第1項の規定によりまして、吉田会長に議長を務めていただきまして、議事を進めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

議長（吉田会長）

次第に従いまして、3 議事の（1）調理業務の検証の ア 米子市立第二学校給食センター調理場の見学は終わりましたので、イ の学校給食の衛生管理について、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局（橋井施設長）

学校給食の衛生管理の前に、第二学校給食センターの概要につきまして、私の方から説明させていただいた後に、学校給食の衛生管理については三宅栄養教諭の方からご説明申し上げます。

[第二学校給食センターの施設概要について説明した。]

事務局（橋井施設長）

続きまして、学校給食の衛生管理につきまして、三宅栄養教諭の方からご説明申し上げます。

事務局（三宅栄養教諭）

パワーポイントのスライドを使って、米子市立第二学校給食センターにおける衛生管理について説明させていただきます。

[米子市立第二学校給食センターにおける衛生管理について説明した。]

議長（吉田会長）

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、何かご意見、ご質問等はございませんでしょうか。

梁川委員

調理従事者専用トイレの清掃は、業者さんに頼まれてされているのか、もしくは調理従事者が自ら清掃されているのですか。

事務局（三宅栄養教諭）

調理従事者が清掃をしています。多分、担当制で、今日はこの人が掃除の当番というふうに決めておられると思います。

梁川委員

清掃は、調理業務が終わってからされているのですか。

事務局（三宅栄養教諭）

終わってからでなくて、その日は調理作業には従事せず、調理場内の清掃作業があたっているというふうに、私は把握しています。

議長（吉田会長）

その他、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

仙田委員

トイレとかは、すべて、全部自動になっているのでしょうか。

事務局（三宅栄養教諭）

はい、そうです。

仙田委員

手を使わなくてもいいようになっているのでしょうか。

事務局（三宅栄養教諭）

はい、そうです。

議長（吉田会長）

その他、いかがでしょうか。

先程の見学の時に、たくさん質問をして答えていただいていたので、質問も既にしていただいた方もおられると思います。よろしいでしょうか。

事務局（野口課長補佐）

先程の三宅栄養教諭の説明の中に出てまいりました作業動線図、作業工程表、チェック表など衛生管理状況を定期的に検査する帳票類を後ろのテーブルの方に置いております。この後、給食試食の前にでもご覧いただければと思いますので、よろしくお願いたします。

議長（吉田会長）

では、他にないようでしたら、次に進みます。

貴重なご意見、ご質問ありがとうございました。

それでは、「(2) 給食試食」に移ります前に、事務局から報告事項があるようですので、よろしくお願いたします。

事務局（野口課長補佐）

事務局からの報告事項ということで、今年度行っております食育事業、いきいきこめっこプロジェクトとっているのですが、その取組につきまして、三宅栄養教諭の方から報告させていただきたいと思ひます。

事務局（三宅栄養教諭）

パワーポイントのスライドを使って、ご説明させていただきます。

[「いきいき こめっこ プロジェクト」について説明した。]

議長（吉田会長）

ありがとうございました。

ただ今の報告につきまして、何かご意見などはございませんでしょうか。

私からよろしいでしょうか。もちろん、メニューや食材もとてもおいしいのですが、今年、すごく掲示物に凝っておられて、子どもたちが休憩時間などに、すごく群がって楽しんでます。やっぱり子どもたちにとっても、給食、今日の給食楽しみだなあとか、こんなところからきているんだなあとか、いろんな学びもあったりして、すごくありがたいなあと思っています。ありがとうございます。

その他、よろしいでしょうか。

では、続いて、「(2) 給食試食」に移ります。

事務局（野口課長補佐）

本日の給食の献立を先に説明させていただきます。資料として「令和5年度10月分学校給食献立予定表」をお配りしています。31日火曜日のところがございますが、麦ご飯、牛乳、ほうれん草オムレツ、たこのマリネ、パンプキンカレーでございます。

献立表の方に●印でほうれん草オムレツとありますのは、鶏卵のアレルギー対応献立となっております。代替食として、荒挽ポロニアステーキを提供することになっております。

なお、本日、「学校給食試食アンケート」を事前にお配りしております。給食を試食された感想やご意見をご記入いただきますようお願いいたします。

そうしますと、給食の準備ができますまでの間、もう少々お待ちください。

佐伯委員

ちょっと質問していいですか。

事務局（野口課長補佐）

はい、どうぞ。

佐伯委員

今話を聞いて、アレルギーのある子どもさんに代わりに出るものが分かったんですけども、こういうのは、子どもたち用にはこの献立予定表で、アレルギー対応をしている子どもさんだけに、代わりにこれが出ますよというような資料がいくのですか。

事務局（三宅栄養教諭）

はい、そうです。

佐伯委員

そうすると、他の子どもたちは、それを知らないということですか。

事務局（三宅栄養教諭）

そうですね。他の子どもたちは知らないです。

佐伯委員

例えば、この献立予定表にアレルギー対応は何が出るのだということを載せるということはおかしいのですか。

事務局（三宅栄養教諭）

混乱する可能性もありますので、アレルギー対応食を食べる子には、専用の資料をたくさん配布させていただいていますので、それはそれで大丈夫かと思えます。

対応食を食べる子どもがいる教室の先生は、多分もう分かっておられると思いますし、保護者が書いたチェック表をクラスの担任の先生は確実に見るようになっていきますので、それも安全かと思えます。その担任の先生が、今日のアレルギー対応食はだれだれさんだよと、多分どこのクラスでも言っておられると思いますので、間違えなく本人のもとには届くと思います。

佐伯委員

間違えるというかそういうことを心配しているのではなく、もうこれぐらいアレルギー対応というのが広まってきていて、この人はこういうものが食べられないから代わりに何かを食べるのだということを、子どもたちなりにもう理解できていると思うので、これを載せるか載せないかは別としても、代替りのものとしてこれが出るのだよということは、子どもたち、他のアレルギーのない子どもさんも知っていてもいいのではないかなあと思います。オープンにというか、もうそういう時代なのかなあと思ったので言わせていただきました。

事務局（三宅栄養教諭）

分かりました。それも検討してみたいと思います。

佐伯委員

まあ、どうするのがいいのかは、現場の方のご意見や、アレルギーのある子どもさんのご意見などもあると思いますが、何かいいなあ君はこれが食べられてとか、そういうことを言われるよりは、もうオープンに初めからこれが食べられないからこれが出るのだよということが、特別なことではないというような認識で広がっていくといいのかなあと思いました。

事務局（三宅栄養教諭）

分かりました。ありがとうございます。

佐伯委員

よろしくをお願いします。

議長（吉田会長）

ありがとうございました。

せっきやく時間があるようですので、他に何かございませんでしょうか。

佐伯委員

もう一つよろしいでしょうか。先程、食品ロスでいいことをされたなあと思いました。おからを使われたということですよ。そういうことがヒントになると、応募してくる子どもたちの献立も、そういうことにも着眼点を持って応募してくてくれるかもしれないと思います。年度当初から少しずつ、例えば、先程、吉田会長さんがおっしゃったようないろんな啓発物の中で、食品ロスに関すること、普段は捨ててしまうかもしれないものを活用して、こんなふうに使っているのだとかいうようなことが入っていくと、この時期の献立の応募の時にも、子どもたちがそれを意識して応募するかもしれないなあと思いました。そんな献立ありましたか。

事務局（三宅栄養教諭）

ありました。学校でもSDGsを学習していて、給食でも食べ残しを減らすような啓発を行っています。今回、SDGsについて応募用紙には載せていませんが、何件かSDGsについて考えて献立を考えてくれた子がいました。その中には、多分、賞をとるようなしっかりとした内容の献立となっていたものもありました。

佐伯委員

よかったです。そういう広がりがあるといいなあとお話を聞きながら思っていました。今回こういうことをされたのですが、急には思いつかなかったかもしれないなあと思っていました。ちゃんと取入れてくれた子もいたようで良かったです。ありがとうございました。

議長（吉田会長）

ありがとうございます。

私からも一ついいですか。私だけかもしれないのですが、食品ロス給食というネーミングが食品ロスを削減したいという願いの給食ですよ。

事務局（三宅栄養教諭）

はい、そうですね。

議長（吉田会長）

食品ロス削減給食とか、何かもう少し。食品ロスでできた給食かなって思う人はいないとは思いますが。もう少し親しみやすそうなネーミングがいいのかなあと感じました。

事務局（三宅栄養教諭）

その日が、ちょうど、食品ロス削減の日ということだったので、そのようなネーミングをさせていただいたのですが、もう少し親しみのある献立名だと、定着するのかなあとも思っていますので、検討してみたいと思います。

事務局（野口課長補佐）

それでは、給食の用意ができたようですので、試食の方をお願いしたいと思います。

[給食を試食しながら、意見交換が行われた。]

議長（吉田会長）

そういたしますと、次の議題の「(3) その他」について、何かありますでしょうか。

議長（吉田会長）

ないようでしたら、最後に、「4 その他」について、事務局から何かありますでしょうか。

事務局（野口課長補佐）

連絡事項ですが、次回の運営委員会ですけれども、年度末、2月の終わり頃から3月下旬ぐらいの開催を考えております。令和6年度の事業計画と学校給食費について、ご審議いただくことになろうかと思っております。日程等が決まりましたら、ご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。

議長（吉田会長）

では、皆様、お疲れ様でした。以上をもちまして、令和5年度第2回目の米子市学校給食運営委員会を終了いたします。

事務局（全員）

本日はありがとうございました。